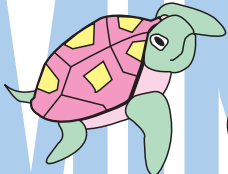


MINAMATA



みなまた 市議会だより

第77号

平成30年8月10日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



6月定例会の報告

平成30年度一般会計補正予算（肉付け予算） 特別会計・条例改正などを可決

肉付け予算とは…首長選後の自治体が、最低限必要な経費について、3月議会で骨格予算を編成した後、6月議会において首長の意向を具体的に反映した事業費を編成する予算です。

条例

《現行の条例改正》

●水俣市税条例等の一部改正

個人市民税における給与所得控除及び公的年金等の控除並びに基礎控除の見直し、たばこ税における税率の引上げ及び加熱式たばこの課税方式の見直し、固定資産税における課税標準の特例で市町村条例で定める割合の制定等によるものです。

●水俣市国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の算定における課税限度額の引上げと、低所得者軽減措置の拡充によるものです。

●水俣市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等が公務中、事故で休業補償が発生した場合に、損害補償の算定基礎となる額の扶養親族加算額を改正するものです。

●水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正

指定地域密着型サービス事業者の指定に関する申請者に、病床を有する診療所を開設している者を追加するものです。

●水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び指定夜間対応型訪問介護の訪問介護員の要件を明確化するものです。

●水俣市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

同条例の基準が一部改正されたことに伴い、引用する条項について改正する必要があるものです。

●水俣市職員定数条例の一部改正

病院事業の職員定数を増員し、総合医療センターにおける医療機能の充実を図るものです。

●水俣市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

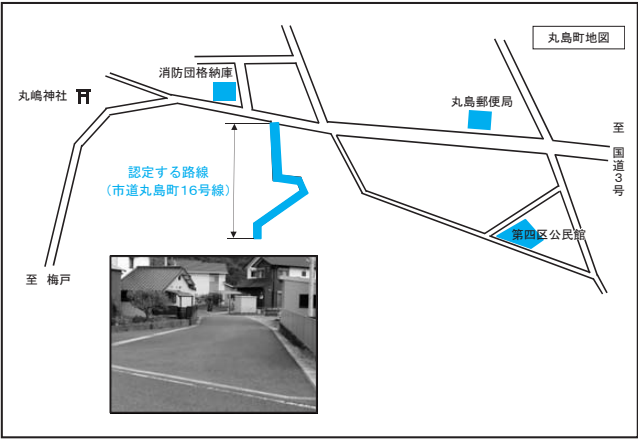
職員の住居手当について他市との均衡を図るものです。

●水俣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正

家庭相談員の報酬について、同様の相談業務を行っている婦人相談員の報酬との均衡を図るものです。

●水俣市国民健康保険条例の一部改正

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律等の施行等に伴うものです。



●水俣市営住宅条例の一部改正

牧ノ内団地及び河原団地の一部住宅の廃止に伴い除却するものです。

●水俣市税条例の一部改正

地方税法が改正され、関連法である生産性向上特別措置法が施行されたことに伴うものです。

《市道の路線認定》

●水俣市丸島町三丁目の県道水俣港大黒町線に接道する公衆用道路

関係する地権者からの寄附の申し出があり、規定に基づき、新たに本路線を認定するものです。

人事

●教育委員会委員の任命

本田恵津子氏（桜井町）

●人権擁護委員の選任

前嶋道子氏（月浦）

陳情

●陳第1号 最低賃金の大幅引き上げと

※3件とも継続審査
全国一律制度及び、開かれた最低賃金審議会のあり方を求める陳情について

●陳第2号 「水俣川河口臨海部振興構

想事業計画」に対する市民説明会を求める陳情について

●陳第4号 所得税法第56条の廃止を求

める意見書提出を求める陳情について

決議

●決議第1号 水俣川河口臨海部振興構

※次ページ参照
想予算にチッソ及びJNCの負担を求める決議

【平成30年度会計別補正予算】

(千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一般会計	1, 775, 339	15, 727, 212
介護保険	6, 000	3, 535, 010
公共下水道	8, 359	1, 065, 074
病院事業（収益的収入）	215, 000	7, 182, 084
病院事業（資本的収入）	262, 200	549, 985
病院事業（資本的支出）	262, 382	1, 075, 888
水道事業（収益的収入）	▲372	499, 213
水道事業（収益的支出）	▲1, 315	407, 113
水道事業（資本的収入）	100, 000	144, 505
水道事業（資本的支出）	100, 012	363, 460

前回の第76号において指定管理者の指定について誤りがありましたので、訂正させていただきます。

【正】公民館分館 【誤】公民館

決議第1号 水俣川河口臨海部振興構想予算にチッソ及びJNCの負担を求める決議（抜粋）

今議会に提案された水俣川河口臨海部振興構想で整備される護岸が守っている土地は、昭和63年の最高裁判決で、当時のチッソ社長及び工場長が業務上過失致死罪に問われた（有罪が確定）際に、「汚染源」とされた土地であり、所有者であるチッソが将来にわたり再汚染を防止する責任があった。また、国、県はそのように指導する立場にあった。その責任を果たさぬまま、2002年（平成14年）水俣市に周辺道路が譲渡された。この経過を考えれば、この事業には、チッソが汚染者の立場、また道路完成後の受益者の立場で相応の負担をすることは当然であり、市長提案の水俣川河口臨海部振興構想予算に、チッソ及びJNCの負担を求めることを決議する。

議案等の審議結果

賛否の分かれた議案等

議案等	会派議員名				政進クラブ			真志会			無限21			日本共産党		自民党	公明党	水進会	一ノ會	結果
	中村幸治	田口憲雄	岩阪雅文	岩村龍男	谷口明弘	塩崎達朗	桑原一知	谷口眞次	藤本寿子	田中睦	野中重男	高岡朱美	松本和幸	牧下恭之	小路貴紀	福田齊				
議第59号 平成30年度水俣市一般会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	棄権	賛	棄権	棄権	賛	賛	賛	議長	可決			
※賛成及び反対の討論なし																				
決議第1号 水俣川河口臨海部振興構想予算にチッソ及びJNCの負担を求める決議	反	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	議長	否決			
（賛成討論） ○3年後の市債残高は2百億円を超える見込みで財政難。この事業は今後10年間で総額34億円が見込まれる。チッソの八幡プールの縁を通っている道路で、老朽化し地震により危険度が高まっている。市に寄付された市の事業であるが、経緯、汚染者の立場、完成後の受益者の立場を考えれば負担をお願いすべきであり、市民生活の負担軽減の一助になる。 ○昭和30年の「水俣工場新聞」（チッソ総務課発行）は、カーバイト残渣を海に捨てると魚が死ぬと書いている。八幡プール群にはこのカーバイト残渣が10年以上に渡って埋め立てられ、水俣病発生の震源地となった。被害者や、被害申請すらできなかった人の立場に立てば、チッソが何の負担もしないなど道義上許されない。																				
（反対討論） ○本決議の内容が、過去に市執行部から答弁されてきた内容や経緯との整合性が見られないこと、議会会議録の内容が正しく引用されていないこと、併せて本市議会の総意として決議するには合理性及び客観性に著しく欠けることから、良識と見識を問われかねないと危惧する。 ○平成14年に水俣市が周辺道路を譲渡された時、議会は全会一致で市道として認定している。また、道路完成後の受益者負担を求めることは市道の建設・改修において前例を作ることになり、今後市内一円の市道整備に市民がお金を出すことを市から強要される恐れが生じ、到底認められない。																				

補正予算の主なもの

○公共施設等適正管理推進事業（道路）

5,992万円

新たに創設された「公共施設等適正管理推進事業債」を活用し、老朽化により改築・更新等が必要な施設を計画的に維持管理・更新等を行うものです。

○家庭部門低炭素総合事業

2,358万円

市産木材を利用した増築やCO₂削減効果のある機器の設置に対し、新築改築に補助金を交付するものです。

○病院事業会計負担金

2億1,500万円

地方公営企業法第17条の2の規定に基づく負担金として、水俣市立総合医療センター（病院事業会計）に繰り出すものです。

○公立小学校ICT整備事業

1,668万円

学校における働き方改革の一環として、「統合型校務支援システムの導入」を実施することで、教職員の校務処理の効率化及び負担軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保するものです。

○ふるさと水俣発信事業

609万円

外国語学習を効果的に実施するため、小学校に電子黒板等を導入します。また水俣環境アカデミアや水俣高校等と連携し、外国語でのコミュニケーション機会の創出を図ることにより、ふるさと水俣を愛し発信できる人材、グローバルに活躍できる人材の育成を目指すものです。

○スポーツアカデミア関係事業

87万円

子どもたちや担当者等向けに講演会等を開催し、一流選手と接する機会を作る事やスポーツ合宿誘致のための準備活動を実施するものです。

○（創造）水俣川河口臨海部振興構想事業

3億5,152万円

水俣川河口臨海部振興構想事業は、丸島漁港を中心とする水産振興及び産業団地の振興を図ることを目的に、公有水面埋立てによる産業団地の拡充をはじめ、老朽化した道路構造物の補修及び新設道路を整備するとともに、海藻類の生育場所となる藻場や稚魚の成育場となる干潟の整備等、生態系に配慮した埋立護岸を整備するものです。

○袋インター関連道路改良事業

1億4,388万円

小田代農免農道から袋インターチェンジ（仮称）を結ぶ区間を改良するものです。

○漁港施設等維持管理費

1億2,000万円

茂道漁港物揚場の耐用年数が経過しており、機能延命のため補修工事を実施するものです。

○水道事業会計負担金

1億円

水俣市水道事業における「防災拠点施設配水管等耐震化事業」等に対する負担金として一般会計から繰り出すものです。

○市内一円河川等維持費補修費

8,081万円

河川や遊水地等の維持管理や施設の補修、改修工事は施設を良好な状態に保ち、その機能を継続的なものとし環境保全や災害の未然防止につなげるものです。

○公営住宅整備事業

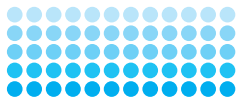
6,504万円

市営住宅の老朽化に伴う建替え及び改修等を行うとともに、用途廃止予定の解体除却工事及び同居入居者の住替え斡旋を行うものです。

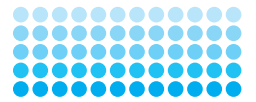
○湯の児地区観光開発事業

6,048万円

湯の児海水浴場及び湯の児島の施設管理に係る観月橋の補修工事費等を行うものです。



常任委員会の報告



*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

総務産業

専決処分の報告及び承認 5 件、条例の一部改正 5 件、補正予算 3 件、市道の路線認定 1 件、陳情 2 件、陳情（継続） 1 件

●水俣市税条例等の一部を改正する条例の制定について

質疑—市民税及びたばこ税の年間の増収見込みは
答弁—市民税は約140万円、たばこ税は約600万円の増収が見込まれる。

●平成29年度水俣市一般会計補正予算（第12号）中付託分について

質疑—消防団第5部の自動車ポンプ車が更新されたが、運転免許制度改正による影響は
答弁—新免許制度の普通免許では、3.5 t 以上の自動車ポンプ車は運転できなくなったため、今後のポンプ車の更新は地区の状況や希望を取りながら協議していきたい。

●水俣市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—医療センターでハイケアユニット病床を設置する経緯は
答弁—県の地域医療構想において、水俣芦北地域で高度急性期病床が、2025年に35床必要というデータが示された。よって、高度急性期病床の設置について病院の改革プランに盛り込み、今回10床の設置を計画した。

●水俣市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—河原団地の入居者の状況及び解体後の使用目的は
答弁—残る1棟に1軒の入居者がおられ、住み替えについて、今後も話をしていきたい。解体後の使用目的はまだ決まっていない。

●平成30年度水俣市一般会計補正予算（第2号）中付託分について

質疑—水俣インターチェンジ（仮称）の開通に向けた事業の内容は
答弁—近隣のインターチェンジでも実施されたウォーキングイベントを計画している。また、開通前後の2カ月ほどを対象としたキャンペーンやスタンプラリーのほか、イメージアップや販路開拓のための店舗リフォーム補助事業、物産展出店に対する補助を計画している。

質疑—水俣川河口臨海部振興構想事業に係る市民説明会の実施の予定は
答弁—現在、作成している環境保全図書の完成後に実施したいと考えている。

本議案については、採決の際に、委員2名の棄権があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生文教

専決処分の報告及び承認 5 件、条例の一部改正 1 件、補正予算 3 件

●平成30年度水俣市一般会計補正予算（第2号）中付託分について

質疑—教育費の統合型校務支援ソフトの導入費用は
答弁—1,668万6千円を予定している。
質疑—次年度以降、ソフトライセンス費用等は発生するのか
答弁—一括で購入するので、5年間は無償でバージョンアップもできる。
質疑—診断書の年間の件数は
答弁—身体障害者手帳交付用は約70件、交通事故後遺症の診断書は約10件である。
質疑—家庭部門低炭素総合事業補助金について、補助金要綱では、予算の範囲内において、先着順の受付で、募集を1月末の締め切りとしているが、2月、3月に申請、着工の場合は受け付けないのか
答弁—そのとおりである。
要望—市民が家の新築を考える際に、随時、補助金の受付ができるように、現行の補助金要綱や予算額についても、見直し、検討されたい。

●平成30年度水俣市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

質疑—公共下水道事業債の交付税措置の割合は
答弁—37%である。

●平成30年度水俣市水道事業会計補正予算（第1号）について

質疑—配水管布設工事の工事場所は。また、今後同様の工事の実施予定はあるか
答弁—工事場所は月浦、古城1丁目、浜町、八ノ窪及び浦上町。配水管の耐震化工事は、市民の方に安心、安全に水を供給するために今後も進めなければならない。

●市道の路線認定について

質疑—市道認定の条件は
答弁—代表的なもので、道路の有効幅員が4 m 以上、勾配が12%以下、道路側溝は両方に設けるなどがある。

●水俣市税条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—先端設備等の一定の生産性向上を図るための設備とはどのようなものか
答弁—新たに導入する機械が生産性を1%以上向上するという工業会等から証明書を交付されたものが対象になる。

あなたの声を市政に

紙面から動画にリンク

各議員の写真の下の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自分の負担となります。

●中村 幸治

1. 教育について
(1) 教育長の教育方針について
(2) 教育振興基本計画について
2. 第6次水俣市総合計画策定について
3. 部活動の社会体育移行について
4. 水俣市地域おこし協力隊について

●谷口 明弘

1. 施政方針について
2. 教育関係について
3. 水俣病犠牲者慰霊式後のマスコミ取材にチッソ社長が「水俣病被害者救済法に基づく救済は終わっている」と発言し、後に謝罪し発言を撤回したことについて
4. ふるさと納税について

●藤本 寿子

1. 水俣市の商店街の活性化について
2. 道の駅・海の駅の整備計画について
3. 川内原発事故時の原子力防災対策について

●高岡 朱美

1. 水俣市における貧困の現状と対策について
2. これからの高齢者福祉・介護保険事業について
3. 環境絵本大賞について
4. 観光振興について

●桑原 一知

1. 市長所信表明について
(1) 市政運営に対する決意について
(2) 市政運営の基本方針と主要施策について
2. 雇用環境の整備について
3. 農業政策について

●塩崎 達朗

1. 市長の所信表明について
2. 防災について

●野中 重男

1. 施政方針について
2. 水俣病について
3. チッソが所有するJNCの株式売却について
4. 水俣川河口臨海部振興構想について

●田中 睦

1. 市長の基本姿勢について
(1) 市民や職員との対話について
(2) 水俣病問題について
2. 小学校運動部活動の社会体育への移行について
3. 小中学校教員の超過勤務削減について

●牧下 恭之

1. 消防団について
2. 重度障がい者医療について
3. 介護保険料引き下げについて

●小路 貴紀

1. 平成30年度施政方針について
2. 農業振興及び政策について
3. 観光及び教育行政における外国語を話せる人材の確保について
4. 小中学校の安全対策について



中村 幸治 議員
(政進クラブ)



本市に合った 小中一貫教育の形を模索

教育について

【問】 教育長として、水俣市の教育方針をどのように考えているか

【答】 水俣市教育大綱の基本理念である「郷土の明日をつくる豊かな人づくり」を念頭におきながら、これまでの経験を生かし、何よりも児童生徒が安心して明るく学べる学校づくりを目指したいと考えている。

【問】 ICTを活用した教育の普及を図る上で課題をどう捉えているのか

【答】 ハード面はICT機器導入整備を図り環境整備をするための財

源確保が挙げられる。計画的に予算要求を重ね、整備していく必要がある。ソフト面は、機器を効果的に活用するため教員への研修が必要である。



【問】 小中一貫教育に積極的に取り組むべきではないのか

【答】 昨年度から2カ年の研究推進校に、袋中学校を指定しており、本年度中に実践の発表予定となっている。本市に合った小中一貫教育の形を模索していきたい。

【問】 教員の働き方改革について、取り組みの現状はどうなっているのか

【答】 教員の働き方改革については、教員の意識改革、組織としての体制づくり、業務の効率化の3点に取り組み一定の効果を上げている。今後も、市校長会議や市教頭研修会等において、各学校で効果のあった様々な取り組み事例を紹介し合うことによる意識化、バーコードリーダーによる時間外対応の削減などの効率化を図ることで、更なる働き方改革の推進に努める。



【問】 今後の本市の学校統廃合について、どのような考えなのか

【答】 学校統廃合については、現在のところ考えていない。

第6次水俣市総合計画策定

【答】 教育委員会では、水俣市総合計画に基本的な施策を定めているので、現時点では、本市の教育の振興は図られている。

【問】 水俣市総合計画策定で、水俣市の将来像を描くに光通信設備は必要ではないのか

【答】 個別の政策については、策定する中で、明らかにしていく。





谷口 明弘 議員
(真志会)



共産党の抗議文に違和感

施政方針につ いて

【問】平成28年度決算で
の市債残高が147億
3,500万円で市政
始まって以来、最大の
市債残高と言われたが、
近年の市債残高の推
移はどのようなもの
か。更に3年後には約
200億円に上る見込
みと発表されたが、そ
の内訳は何か

【答】臨時財政対策債が
約20億1,500万
円、過疎対策事業債が
約14億6,800万円
増加。増加した要因と
しては、水俣市総合医
療センター西館の増改
築、消防本部の庁舎建

替え、防災行政無線の
更新などが挙げられ
る。今後3年間につい
ては、市役所庁舎の建
設、水俣川河口臨海部
振興構想事業などの大
型事業により市債残高
が200億円に達する
ものと考えられる。



【問】それによって市民
生活にどのような影響
を及ぼすか

【答】後年度において道
路や施設の維持補修等
の予算に制約がかかる
恐れがある。

【問】財政状況が厳しい
中、道の駅・海の駅構
想は今後どのように進
めるのか

【答】これまでの計画を
ゼロベースで見直す。

教育関係につ いて

【問】庁舎建替えに絡み、
駐車場確保の目的で、
第一小学校の敷地と市
役所の敷地の換地を相
談し始めたとのことだ
が、この際、第一小学
校も10年後を見据えて、
低学年棟と高学年棟を
まとめる、職員室も校
庭の見えるところに移
すなど子どもたちの教
育環境の整備にかかわ
る予算を市と協議する
チャンスと捉えて行動
してみてもどうか

【答】議員の意見も参考
にさせていただきます。



水俣病犠牲者慰霊式後の マスコミ取材にチン社 長が「水俣病被害者救済 法に基づく救済は終わっ ている」と発言し、後に 謝罪し発言を撤回したこ とについて

【問】5月7日に日本共
産党南部地区委員会の
市議ら5名がチンソ水
俣本部に届けた抗議文
の中に「水俣病被害者
の救済に責任を負わず
して自治体施策への協
力などを言い出すのは
本末転倒である」とい
う一文がある。JNC
も水俣市のイベントに
様々な形で地域貢献さ
れてきた。加害企業に
は社会貢献などする資
格はないといわんばか
りの主張に対して、地
元企業との連携を密に
して雇用面を含む経済
の活性化を図ることを

目指している市長は、
この主張をどのように
考えるか

【答】被害者救済も、地
域への貢献もこれまで
通り取り組んでいただ
きたい。市民の多くも
そう考えていると感じ
る。



ふるさと納税 について

【問】今年度の目標金額
はいくらか

【答】5,000万円。

【問】新しい取り組みは
あるか

【答】返礼品の開拓のた
め事業者への個別訪問
を積極的に実施する。



藤本 寿子 議員
(無限21)



商店街の活性化には、ひとつの まとまったテーマが必要ではないか

水俣市の商店街の活性化について

問 空き店舗の数はどれくらいあるのか
答 平成29年3月時点で16店舗になっている。
問 市民が活用できる商店バンクなるものを考えないか
答 積極的な情報発信や空き店舗等を探している方とのマーケティング



答 シング支援と進めていく。
問 商店街の声の中に市が行う公共事業があれば商店街を積極的に活用してほしい。集客が進みなくなるバスの運行を考えてほしいなど要望があったが
答 市が行う公共事業等物品購入については可能なものは市内業者に発注する。
問 大分県豊後高田市の「昭和のまち」へは年間50万人の観光客がくる。水俣市も初恋のまちに加え、商店街全体にひとつのコンセプトが必要と思うが
答 今後も各商店街ニーズに即した支援を積極的に行う。

道の駅・海の駅整備事業計画について

問 29年度予算に基本設計、実施設計費が計上されていたが、今後どのようなになるか
答 事業をゼロベースで見直すため、今月付で契約解除した。
問 事業変更について農業、漁業者へは理解してもらっているのか
答 今後事業方針が固まり次第、関係者へは理解頂くとともにアドバイスも頂きたい。
問 今回、30年度補正予算に、関係機関との協議に係る費用が計上されている。しかし、今後どのようにしていくか明確でないのに、

川内原発事故時の原子力防災対策

問 6月11日、防災会議において「原子力防災―福島に学ぶ」というテーマで講演会があった。これを糧に、今後どのようなことに取り組むのか
答 住民等への対策の周知、住民等への迅速な情報連絡手段の確保、及び避難経路、避難場所の明示を平時から地域防災計画に具体的対策として策定する。
問 出水市や鹿児島県には、水俣市も川内原発から50キロであり、避難しなければならぬ事態もあることを理解してもらう必要があると思うが
答 事故がUPZ圏外にも及ぶ可能性を踏まえ、関係自治体と連携

関係機関と話をするのは無理ではないか
答 補助金に関する協議、道の駅・海の駅の認定申請について国や関係機関と協議する。



し、協議していく。
問 今後、安定ヨウ素剤の事前配布をどのよう考えていけるのか
答 今後、住民への事前配布については、放射性ヨウ素に関する効果的な服用のタイミングや副作用等の課題を整理していく。



高岡 朱美 議員
(日本共産党)



広がる格差と貧困 水俣市の対策は

水俣市における 貧困の現状と対 策について

【問】「熊本県子ども

生活実態調査」が実施された。結果どのようなことがわかったか

【答】本市の相対的貧困率は14・4%で、県全体とほぼ同じ。ひとり親世帯は445世帯あり、その平均所得は200万円である。生活困窮に関する相談は増加傾向にあり、婦人相談員への相談は、年間延べ160件あった。【問】アンケートでは、経済的理由で医療機関にかかれなかった、ガス・水道が止まった、

家賃滞納などの経験をしている人が複数ある。日本でこのように貧困が広がった理由をどう考えるか

【答】景気と雇用、世帯間格差の問題やワーキングプアーの問題が大きい。

【問】ご指摘の通りで、小泉内閣による構造改革以降、若者は、ワーキングプアーで苦しんでいる。日本は、1990年代から先進国で唯一賃金が下落し続けている国だ。しかも大胆な規制緩和によって日本型雇用が破壊されたにもかかわらず、それに対応する社会保障の整備がされていない。今や非正規雇用が全体の4割を占めているが、他の先進諸国と比較して、失業障害、生活保護などに対する公的支出が非常に少ない。また、教育費の自己負担が飛び抜



無料塾（人吉市）

【答】医療費無料化の拡充はできるだけ早い段階でやりたい。市営住宅の家賃減免は、厳しい財政下であり、これまで通りとしたい。教育支援については、放

これからの高齢者福祉・ 介護保険事業について

【問】国は、医療・介護における今後の方向性をどう示しているか

【答】人材不足、財源不足を効率化、重点化で補うことを打ち出している。

【問】つまり、限られた人材を重度の人に優先的に配備し、軽度者には地域で養成するボランティアなどで対応させようとする内容だ。

水俣市の次期計画では、在宅向けの介護サービス需要が増加することになるが、課題は

課後補充教室を軸に据え、シルバー人材センターのおさらい教室については成果及び財源を勘案しながら手法を研究していきたい。

【答】人材不足が大きな課題だ。

【問】シルバー人材センターに生活支援サービスの提供を委託しているが、研修等の充実で継続する必要があると思うが。また介護予防の動機付けになる健康ポイント制度を導入してはいかがか

【答】いずれも検討し、努力したい。





桑原 一知 議員
(真志会)



多彩な人材や企業の 受け皿を確保すべき

市長所信表明 について

【問】限られた財源のなかで、住民生活の利便性や公共施設等を整備するなど、今後は大型事業が控えており財源の有効活用が一層求められるが、どのように進めるのか

【答】組織の合理化、事務・事業の見直し、財政の健全化の検討を進め、「最小経費で最大の効果」をあげる行政運営を追求するとともに、実施する事業を選択し、市民生活に影響を及ぼすことがないように財政状況をにらみながら、大型事業を進

める。また、今年度に策定する「第6次水俣市総合計画」及び「第6次水俣市行財政改革大綱」においても財源の有効活用等の検討を進めていきたいと考えている。

【問】第6次水俣市総合計画の策定にあたり、第5次水俣市総合計画での目標数値の達成度を検証し、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルは活かされるのか

【答】現在、目標数値の達成度等の検証を行っている。この検証により明らかになった評価に基づき、各政策の改善点及び優先順位を整理し、PDCAサイクルを活用する事で、第6次総合計画の策定につなげていく。

【問】「空き工場バンク制度」創設で市所有の建物等を活用する考えは

【答】多額の費用や時間を要するため、まずは民間の所有する物件で、

雇用環境の整備について

【問】起業支援やテレワーク・サテライトオフィスなど、多彩な人材や企業の受け皿を整備する事は必要と考えるがどうか

【答】通信技術の進歩により、近年民間企業において進んでいるところであり、本市としても、このような状況をチャンスと捉え、今後進めていく。また、「空き工場バンク」により把握した空き店舗へのサテライトオフィスの誘致等、関係機関の協力を得ながら進めたいと考えている。

【問】U-IJターンに対するサポートが必要と考えるが取り組みはどのようになっているか

活用可能なものがないか、調査を行いたいと考えている。

【答】U-IJターンを希望されている方が雇用に関する情報が必要としている場合、情報の提供やニーズに応じたマッチング等の取り組みや、県においては、「熊本県U-IJターン就職支援センター」「熊本県雇用環境整備協会」等で就職先の紹介や就職に係るサポート等を行っており、今後も連携していく。



農業政策について

【問】ブランド米をはじめ、消費者が求める品種の選定や園芸作物の更なる振興が必要であり、販売戦略や作付け誘導策はあるのか

【答】米については、熊本県の新品種「くまざんの輝き」は、食味が良く、山麓準平坦地での作付けに適した品種でもあり作付けの拡大を推進していきたい。また、棚田の美味しいお米のPRのひとつとして、食味コンクールへの出展も考えている。新規作物の導入は農業者の取り組みへの意向を聞きながら、支援していく。

【問】農地中間管理機構の現状は

【答】平成27年4月以降、50件、およそ17ヘクタールの農地の貸し借りがされている。



塩崎 達朗 議員
(真志会)



市の経済活性化に 港の活用は重要である

市長の所信表明について

【問】 学校給食費の段階的負担軽減の検討とあるが、どのような財源を考えているのか。また、水俣市に生活困窮家庭はどれくらいあるのか

【答】 市全体の事業を精査しながら、牛乳への補助金、主食代の市負担など様々な軽減策を検討し、段階的な負担軽減につなげていきたい。全額無償化した場合、年間約8,600万円が必要となる。また、市内児童生徒数1,794名のうち準要保護児童生徒は184名、要保護児童

生徒が15名である。

【問】 医療費助成制度の対象者を、高校3年生まで広げることを検討するとあるがどのような財源を考えているのか

【答】 現在の中学3年生までの医療費助成と同じく、過疎対策事業債の充当を予定している。

【問】 「母川回帰」のごとく、水俣市へ帰って来て働きたい若者のために、奨学金返還の助成制度を設けてはどうか

【答】 水俣に戻ってくる一つのきっかけとなる制度と認識しているが、より効果的な制度についての研究を行なっていく。

経済の活性化について

【問】 「地場企業」、水俣市の将来に向けた発展のために水俣港の役割は大変重要だと思いが、港の整備・拡張を国、県に要望することを考えていないか

【答】 本港は、国から特

定地域振興重要港湾に指定されており、「水俣港活用による地域活性化勉強会」を国、県、市の関係機関で行っており、課題を解消するため、引き続き国、県へ要望を行う。

防災について

【問】 本市でも消防の機動分団を新設してはどうか

【答】 地域や企業と連携し、まずは消防団員が活動しやすい環境を整

備することが重要で必要性について十分に見極めていく。

【問】 要支援者名簿の作成・配布は、どのようなになっているのか

【答】 平成29年2月に614人の名簿を作成し、同意の確認がとれ

た291人の名簿を警察署、消防本部、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等に提供している。

【問】 「市庁舎建替事業」で、防災対策拠点として、災害用マン

ホールトイレやバイオ方式トイレを整備する考えはないか。また、旧庁舎解体時期に合わせ、旧庁舎を利用した総合災害訓練を行ったかどうか

【答】 災害用トイレについては、防災拠点としての機能が効果的に発揮されるよう、今後の検討課題であると認識している。また、旧庁舎を利用した総合災害訓練については、安全性の確保が出来ないことから、訓練は困難である。





野中 重男 議員
(日本共産党)



八幡プール群周辺道路等整備予算34億円、市の借金24億円、チッソに負担求めず

水俣川河口臨海部振興構想について

【問】 歳入にチッソ及びJNCの負担があつてしかるべきではないか。また、河口部と臨海部の事業費は34億円と聞いているが、起債はいくらになるのか

【答】 この事業は丸島漁港を中心とした水産業及び産業団地並びにその周辺の活性化を主たる目的に水俣が行う事業で、負担金を求めるのは難しい。また、河口部と臨海部の事業の起債（水俣市の借金）は、24億円である。

【問】 高岡市長は、3月

議会でチッソに負担を求めるか否かについて、チッソは水俣病特措法での一時金支払いで国からお金を借りたが、その返済を国から猶予されている状況であり、負担を求めるか否か国と県に聞いてみると答弁した。3月議会から3カ月たったが、国と県には聞いたのか

【答】 聞いていない。

【問】 この事業の目的について本山前副市長は「この護岸は、ひび割れが施設全体で確認されており、陸側から海側へ連続している。内部の鉄筋が腐食し、コンクリートに空洞ができています。剥離、剥落、欠損も多く確認されている。海面に傾いた護岸が背面土圧によって押し出されていて、不同沈下が生じ、護岸にずれが生じている。今後護岸自体の倒壊に至る恐れがある。

安全性の確保が重要であり強化整備する」と平成28年の議会で答弁した。この事業の主たる目的は護岸整備ではないのか

【答】 養浜海岸も作り、丸島漁港などの水産業振興と産業団地の活性化につなげる事業である。

【問】 チッソの社長と工場長が業務上過失致死罪に問われた水俣病刑事裁判があつた。昭和63年最高裁判所は2人に有罪判決を下した。この事件の汚染源は八幡プール群である。判決を受け再び汚染しないように厳密な防護措置をする責任はチッソにあつた。しかし、チッソはそれをせず老朽化した状態で平成14年に水俣市に寄付し、水俣市はこれを受け取った。八幡プール群道路の土壌調査や周辺海域での魚介類など

調査はされていない。汚染者負担原則で汚染者が対処すべきものである。また、今回の護岸補強工事で利益を受けるのはチッソとJNCである。そこに受益者負担原則で負担を求めることは当然ではないか

【答】 汚染調査をする計画もないし、事業負担金は求めない。





田中 睦 議員
(無限21)



市長、「救済は終わっていない」との認識示す

市長の基本姿勢について

問 職員とは日常的な対話に努めるということだが、それは現在行っているのか、今後の努力事項なのか

答 今のところ、それぞれの課を回って職員と対話をしているということはやっていない。水俣病問題について、患者・被害者と加害企業との間に入って双方をつなぐとは、第三者的ではないか。被害の側の声に重きを置くべきではないか

答 両者をつなぐ役割は第三者的ではない。市民に軸足を置いた市政を行っていききたい。

問 チッソ社長の「救済は終わった」発言への所見は

答 国、県と同じく、現状を踏まえると救済終了とは言い難い。

問 見舞金契約時は、間に入った調停委員が企業に有利な内容を引き出している。「間に入ってつなぐ」ことは、加害の側に立つ危険性をはらむ。市長として加害の側には立たないという決意を示して

答 どちらの側ということではなく、すべての市民の立場に立って判断していく。



不知火海を見つめる石像

小学校運動部活動の社会体育への移行について

問 指導者はどの程度確保できているか

答 現在35%。今後も、幅広く指導者確保に努めていく。

問 保護者の負担が増えない様にする手だてはあるか

答 指導者謝金など直接的なものへの助成はしない。指導者研修への助成はするつもりだ。

問 活動を始めるまでの安全確認の手だてはどうするつもりか

答 すでに保護者の見守り体制ができていて、ところもある。出水市では保護者が交代で見



守りを行うことが当たり前になっている。水俣でも保護者の理解を得ながら進めていく。

教員の超過勤務削減について

問 先生方の超過勤務は減っているか

答 平成28年度に超過勤務が月に100時間を超えた職員の割合は、17.1%（小12.1%、中26.3%）、平成29年度は全体で9.3%（小7.2%、中12.3%）と大きく減っている。

問 中学校の先生の割合が半減したことは評価できる。超過勤務が減った要因は何か

答 「私の定時退勤日」の掲示などによる意識改革、効果的な業務分担や互いにカバーし合える体制づくり、行事の後に次年度の計画案作成を行うなどの業



務の効率化に取り組んだ。それらの相乗効果によるものだと考える。

問 先の数字は先生方の自己申告によるものだ。超過勤務が月に80時間を超えると県に報告されるといことで、それを避けるために少なく報告する人もいると聞いた。6月からバーコードによる勤務時間の把握がされているので、その点は改善されるだろう。

答 先生方が心身ともに元気に仕事ができる環境づくりに向けての決意を

答 学校の働き方改革には、しっかり取り組んでいきたい。



牧下 恭之 議員
(公明党)



新たな取り組みで 女性消防団の育成を

消防団について

【問】 女性消防団の募集と育成の取り組みは

【答】 女性の視点で防災・消防活動に参加する女性消防団への入団促進は喫緊の課題であり、広報紙やホームページで女性消防団員の募集を積極的に行いたい。また、女性消防団員の規則等を定め、女性により幅広い分野で活動できるよう環境の整備と、様々な研修に参加して、女性消防団員の育成を図っていく。

【問】 団員報酬を増額する考えはないか

【答】 団員報酬の増額は、消防団員確保に有効である。今後検討したい。

重度障がい者医療について

【問】 身体、知的、精神の重度障がい者の場合は、医療機関で自己負担額を一旦支払った上で、市への申請手続きを経て還付を受ける償還払いが長く続いている。

【答】 そこで、受信時に医療機関で自己負担分を支払うものの、その後障がい者の受信データを各医療機関から水俣市が入手し、一括処理

により、障がい者は市役所に毎月出向いての還付手続きをする必要がなくなる。本人やご家族の負担が大きく軽減される自動償還払い方式を提案するがいかがか

【答】 自動償還払い方式は、県内市町村が同時移行が望ましく、福祉担当主管課長会議等で必要性を伝えていく。



介護保険料引き下げについて



【問】 高齢化が進むわが国では、介護保険制度の維持と保険料負担の緩和と介護人材の確保が求められている。

【答】 介護保険料は高齢者の負担感が強く、保険料の上昇を抑える手だてが不可欠になっている。

【問】 介護保険料の引き下げの取り組みは

【答】 元気な高齢者が介護の担い手として、要支援及び虚弱な高齢者を相互に支え、介護給付に係る費用を抑える仕組みを強化していく。

【問】 保険料を引き下げ

た90の自治体がある。この要因は何だと思うか

【答】 「新しい総合事業」への移行や医療と介護の連携が円滑に行われていること等が要因と思われる。

【問】 水俣市の取り組みとどう違うのか

【答】 水俣市は、健診率の低迷と、糖尿病や高血圧、高脂血症が重症化し、介護認定率も県内で高い状況にある。

【問】 介護給付費用を抑えるポイント制度を導入できないか

【答】 導入していく。



小路 貴紀 議員
(水進会)



水俣高校からの大学進学之机会と 選択制を広げられる環境の整備を

平成30年度施政方針

- 〔問〕 児童らをスポーツの面で支援する新たな取り組み「キッズサポーター基金創設」の進捗状況は
- 〔答〕 現行制度の補助対象の拡充や寄附の受け入れ方法等を検討中である。
- 〔問〕 寄附者となる市民や企業の方々が、寄附しやすい条例等を早急に制定することが先決と考えるが
- 〔答〕 早急に庁内調整を図り、受け入れ体制の整備を優先に取り組む。
- 〔問〕 市外の宿泊者に助成する水俣市交流促進奨励金について、地元での消費を促すよう大

会や合宿等の当日に奨励金を支給できないか

〔答〕 現行の規程では、宿泊実績による交付額が確定した後支払うことから、現状は難しいと考える。



- 〔問〕 水俣高校からの大学進学を選択制を広げるため、環境アカデミアで連携している大学への推薦枠を設ける等、関係先と協議していくべきと考えるが
- 〔答〕 連携している国公立6大学との進学枠の確保について努力していきたい。

農業振興及び政策

- 〔問〕 グローバルGAP（ギャップ）とはどういうものか
- 〔答〕 農産物を作る際に適正な手順や物の管理を行い、食品安全や環境保全等を確保するものであり、ヨーロッパで策定された国際認証として普及している。
- 〔問〕 本市におけるGAPの取り組み状況は
- 〔答〕 認証を受けたいと希望される農家の話は伺っている。今後は研

修会を開催する等、取り組みに対する理解度を深めていきたい。

〔問〕 国際認証の取得には費用が伴うため、やる気のある農業者に対しては費用の一部を補助する制度を構築して欲しいが

〔答〕 課題はあるが、稼げる農業に取り組む意欲に対しては、国・県等の補助事業を活用しながら支援していきたい。

小中学校の安全対策

- 〔問〕 大阪北部地震で女児がブロック塀の犠牲となったが、学校施設の現状はどうか
- 〔答〕 日頃の安全管理をもとに改修等を実施しており、昨年度は第二小学校でフェンス化、本年度も第二小学校及び第一小学校の改修を



- 〔問〕 登下校路の民間施設

外国語を話せる 人材の確保

設、特に個人所有のブロック塀の安全対策が必要となる場合、改修を促しやすいするためにも国・県の支援を要望すべきと考えるが

〔答〕 民間のブロック塀は数多くあるため、国・県への要望を含め市長部局と協議及び検討していきたい。

- 〔問〕 観光のみならず、小中学校や水俣高校といった教育分野への波及を目指した人材確保策について、県と連携できないか
- 〔答〕 観光では多様な言語への対応が必要であり、外国人宿泊者は極少である現状から、仕事を通じた定住は難しいと考えている。

議会の主な動き

(H30.4.1~7.31)

- 4月10日 春の交通安全運動啓発活動
- 5月1日 水俣病犠牲者慰霊式
- 5月18日 議会運営委員会・各派代表者会議
- 6月1日 議会運営委員会・各派代表者会議
- 6月5日 庁舎建替等対策特別委員会
- 6月8日 公害環境対策特別委員会現地視察
- 6月13日 6月議会定例会開会
- 6月14日~15日 全員協議会
(平成30年度一般会計補正予算説明)
- 6月26日~28日 一般質問
- 6月29日 各常任委員会
- 7月2日 公害環境対策特別委員会
- 7月4日 公害環境対策特別委員会
- 7月5日 6月議会定例会閉会
庁舎建替等対策特別委員会
- 7月21日 恋龍祭市民総おどりに参加
- 7月26日 庁舎建替等対策特別委員会

他市町村からの視察

(H30.4.1~7.31)

- 4月17日 ○群馬県太田市議会
水俣市独自のISOについて
水俣病資料館について
- 5月15日 ○東京都昭島市議会
環境モデル都市について
- 5月16日 ○香川県丸亀市議会
水俣WEBの駅について
- 5月17日 ○埼玉県越谷市議会
環境モデル都市づくりについて
- 5月22日 ○兵庫県伊丹市議会
水俣病資料館の視察について
- 5月24日 ○鹿児島県志布志市議会
環境モデル都市づくりについて
- 7月12日 ○佐賀県唐津市議会
みなまたエコタウンプランについて
クリーンセンター現地視察
- 7月19日 ○岐阜市議会
環境モデル都市づくりについて
水俣病資料館現地視察
- 7月24日 ○佐賀県議会
水俣病資料館の概要について
- 7月27日 ○福岡県北九州市議会
家庭ごみの分別について
生ごみ処理機の普及推進について
- 7月30日 ○北海道南幌町議会
コミュニティバスについて
乗り合いタクシーについて

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧ください！

水俣市 議会

検索

Q. 市議会の様子を見てみたいけど？

A. 当日の中継や過去の議会も見られます！

水俣市議会ホームページから
「議会インターネット中継」
をクリック！



Q. 質問や答弁の内容を調べたいんだけど？

A. 質問や答弁のキーワードで検索できます！

水俣市議会ホームページから
「水俣市議会会議録検索」
をクリック！



インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局（TEL61-1661）までお問い合わせください

編集後記

暑い夏が巡ってきました。

今議会は開催が遅く、編集は、期日に間に合うよう緊張気味に始まりました。また、編集委員の交代があり、新たに岩村龍男議員が加わりました。

水俣市は、新庁舎建設など、大きな事業が本格化してきます。議会での審議状況をできるだけわかりやすく、市民の皆様にお伝えすることが大切かと思っています。

現在、議会報告会が中断していますが、市民の皆様から、紙面に関する意見を聞く機会はないかなど、検討していく必要があると思っています。

編集委員(委員は50音順)

委員長 藤本 寿子
副委員長 高岡 朱美
委員 岩阪 雅文
委員 岩村 龍男

委員 桑原 一知
委員 小路 貴紀
委員 塩崎 達朗
委員 田中 睦
委員 上田 純

議会事務局員

上田 純